



メディアに現れる 関西弁

0312038 西村真美
0312051 山下良奈
0312156 森真都香

はじめに

ローカルヒーローと メディアと方言

観光・土産の宣伝に 使われる方言

—ヴァーチャル方言のWeb vs 実店舗—

メディアに現れる 関西弁

方言キャラクターの 比較

—演劇とアニメ、日本語版と韓国語版—

二セ方言使用の 意識と実態

あとがき

4.1 目的

関東の人が持っている関西弁イメージと作品に現れる関西弁を比較し異なる印象、もしくはあてはまる印象を探す。

4.2 調査概要

4.2.1.調査対象の抽出方法

2000年以降、大阪、京都、それぞれを舞台にした方言が作品で使用されている映画に限定する。原作としての小説、もしくはノベライズされた小説と比較し、似たシーンのカット付き台詞を映画と小説で対照させ、そこに現れる非共通語を抽出する。

4.2.2.調査対象作品

表1 各府県の調査対象作品

ラブ★コン	大阪
京都太秦物語	京都
阪急電車	兵庫

4.2.3.分析の方法

表2 映画におけるヒーロー・ヒロインの役者とその出身地

作品名	役者	名前	地域
ラブ★コン	ヒロイン	藤沢忠英	香川県
	ヒーロー	小池隆平	大阪府
京都太秦物語	ヒロイン	海老原はな	京都府
	ヒーロー	USA	神奈川県
阪急電車	ヒロイン(演出兼役)	高津実	兵庫県
	ヒーロー	小塚友	東京都

各作品のキャストに一人ずつその出身地の人が起用されていることがわかる。

今回、取り上げた作品にはヒーロー・ヒロインが登場するため、その二人に着目して調査を行いたい。映画と小説の似たシーンを明確にシーンに限定し、カット付き台詞の中に見られる非共通語を分析する。なお、映画のシーンは平均してそれぞれ2分程度に過ぎない。

→ 4.3.『ラブ★コン』に見られる大阪方言(森真都香)

→ 4.4.『京都太秦物語』に見られる京都方言(西村真美)

→ 4.5.阪急電車に見られる兵庫県弁(山下良奈)

4.6.班全体のまとめ

3作品の大阪ステレオタイプと京都ステレオタイプを比較し、それを点数評価したものが下の図である。

大阪ステレオタイプは「冗談好き」「ほち」「食いしん坊」「好色」「ど根性」「やぐさ」というものが、京都ステレオタイプは「かわいい」「女らしい」というものである。

図6 3作品のステレオタイプとの比較グラフ

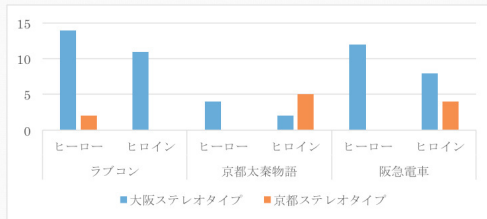


図6からは、

- ラブ★コンは、どちらも大阪ステレオタイプにあてはまっている
- 京都太秦物語は、ヒロインに京都ステレオタイプがあてはまり、ヒーローはや大阪ステレオタイプである
- 阪急電車も、どちらも大阪ステレオタイプにあてはまるが、新念としてはヒーローのほうが強く、ヒロインは京都ステレオタイプにもあてはまる

ということがわかる。

つまり、全ての作品、キャラクターから大阪ステレオタイプが表れており、「関西方言のステレオタイプ=大阪ステレオタイプ」といえるのではないだろうか。ひいては、私たち関東の人からは「関西弁=大阪弁」というイメージが強いということの裏付けになるのではないかと考える。

このことから、大阪出身者と京都出身者と兵庫出身者に関西弁の印象について点検してみた。質問事項は以下の通りである。

- 関西弁のイメージはどのようなものですか？
- 東京から見る関西弁のイメージは関西圏の中で同じイメージであると思いますか？

対象は、大阪出身者20代女性、京都出身者40代女性、兵庫出身者50代男性である。

回答は自由回答にした。

結果は以下の通りである。

[大阪]

- 愛嬌があるイメージ。
- 和歌山以外は同じだと思う。

[京都]

- 洗練されているイメージ。特に目上の人に対する表現が柔らかくなるので良い。
- 大体大阪のイメージだと思う。

[兵庫]

- 柔らかい、温かい、昔があるイメージ。
- 京都以外は同じだと思う。

以上のことから、今回は調査人数が少なかつたこともあり、一概にこうとは言えないが、関西人が持つ関西弁のイメージは出身地域のイメージが強いようであることがわかった。しかし、おぼろげなイメージとしては関東の人と同じく大阪弁と感じているのではないだろうか。

引用文献リスト

- 足立憲代(2000)。「共通語らしき」「関西弁らしき」—「ダ」と「ヤ」と「ネン」— 『甲南国文』47,25-47 甲南女子大学日本語学会
- 阿部純(2010)。「京都太秦物語」 新日本出版社
- 有川浩(2010)。「阪急電車」 幻冬舎文庫
- 井ノ口有一(1992)。「京ことば辞典」 東京堂出版
- 金水敏(2003)。「ヴァーチャル日本語 役割語の語」 岩波書店
- コロロ直(2007)。「ラブ★コン」 集英社
- 真田信治(2011)。「日本語ライブラリー 方言学」 朝倉書店
- 田中ゆかり(2011)。「『方言コスプレ』の時代」 岩波書店
- 中井幸比呂(2002)。「京都府方言辞典」 和泉書院
- 平山輝男(1997)。「日本のことばシリーズ 大阪府のことば」 明治書院
- 堀井令以和(2006)。「京都語を学ぶ人のために」 世界思想社
- 牧村安福(1979)。「大阪ことば事典」 講談社
- 山本康雄(1984)。「大阪ことば事典」 講談社